

平成28年度第4回 豊川市子ども・子育て会議 会議録（要約）

平成29年3月21日（火曜日）
午後1時30分～午後3時10分
豊川市勤労福祉会館 視聴覚室

1 あいさつ

白垣会長によるあいさつ
（略）

2 議事

(1) 子ども・子育て支援事業の進捗状況について

【事務局説明の後、主な委員の質疑・意見及び事務局回答・説明】

- ・ファミリーサポートの援助会員が少ないことへの対応はどのようにするのか。どのように（援助会員登録へ）投げかけるのか。
一般の方へ送り迎えだけなどの短い時間での利用が可能なことを認知してもらうことも必要。
（事務局）主任児童委員会議でもお伝えしておりますが、今後、コミュニティ施設でのPRも考えている。依頼会員の方が多いが、援助を断られるケースは、少ない。
- ・保育の待機0人は、辞退した人がいたため。どうして3歳未満で入園させたいと考えたのか。
もし、3歳の時に入園できなかったらどうしよう、今のうち（3歳未満）に入園しておけば安心と思われているからではないか。
3歳で入園できることをアピールした方がよいのではないか。
3歳までは、家庭でというのが理想であることをアピールすることを方針に入れるべき。
育児休業取得の啓発の仕方次第で、3号認定がどんどん増えることなく、歯止めがきくようになるのではないか。

（事務局）3歳で100%入園かということ、実際は、希望園ではなく、地域の他の保育園という選択もある。とりあえず、申し込み、3月で転勤での取りやめ、第1希望でなければもう1年待つなどのケースもあり。

公務員は、3年の育児休暇制度であるが、民間では1年。法改正で1年半というのが現実。3歳児のうち、2歳児からの入園の割合は、名古屋市9割、豊橋市7割、豊川市6割。

- ・若いお母さんに育児の喜びが薄く、充実して働くことに重点があるようだ。
- ・育児が、復帰後の仕事に生かせると思う。
- ・育児か仕事かに迷っているように感じる。
- ・子育ては誰がするのが抜けている。
女性の参画のため計画を進めているが、2年目で子育てがしやすくなったのか、平等参画なのかと聞くと皆がそうだと言える状況ではない。3年育児休業復帰のような法令はじわじわでしか進まない。
- ・女性の社会進出、子どもを育てる、6ヶ月であずける、3歳からあずけるなど多様な選択があり、その多様さを認める前提がないといけない。すぐ、子

どもをあずけるということが、子育てから逃げているとは一概には言えない。
・若い時には、子育てについてのいろいろなことを経験が少なく知らないことが多いと思う。子育てを終えた者の姿勢として、子どもの気持ちを若い頃から気付かせるように（助言や手助けを）したほうがよい。

(2) 子ども・子育て支援事業に係る平成29年度予算について

【事務局説明の後、主な委員の質疑・意見及び事務局回答・説明】

- ・子育て短期支援事業の利用件数が増えたが、何故か。家族数が増えたのか、回数が増えたのか。

（事務局）今年度は、家族数が増えた。

- ・予算増の財源はどうなのか。

（事務局）2号・3号が増加の大半。国が半分、県4分の1、市4分の1。
賃金の上昇、小さいお子さんを多く預かる傾向があり、増加傾向。

(3) 平成29年度放課後児童クラブの申込状況について

【事務局説明の後、主な委員の質疑・意見及び事務局回答・説明】

- ・傾向として、高学年の申込が伸びていないよう気がする。3年生から4年生へ引き続きというニーズは多くないのか。

（事務局）4年生は、ニーズが無いわけではないが、5年生からは、急に少なくなっている。

- ・増設の場所と人員（職員）の確保はできているのか。

（事務局）4箇所増設するところは、できている。

3 その他

（事務局）平成29年度も、6月、9月、12月、3月に当会議を開催する予定。